

会 議 録

会 議 名	第38回野田市市民活動支援センター運営協議会
議 題	<p>(1) 市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について</p> <p>(2) 令和2年度市民活動支援センターの登録状況について</p> <p>(3) 令和2年度市民活動支援センターの利用状況について</p> <p>(4) 令和2年度市民活動支援センターの事業実施計画（変更）について</p> <p>(5) 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について</p>
日 時	令和2年8月4日（火）午後2時5分から午後3時50分まで
場 所	野田市役所高層棟8階 旧レストラン会議室
出 席 委 員	<p>会 長 竹澤 勇司</p> <p>副会長 立山 喜弘</p> <p>委 員 武智 多恵子、加藤 満子、岩井 勝治、渡邊 勝男、 北倉 恵美子、加藤 眞智子、藤掛 忠雄、芝田 栄太郎</p>
欠 席 委 員	無し
事 務 局 等	<p>副市長 今村 繁</p> <p>市民生活部長 牛島 修二</p> <p>市民生活課長 渡邊 正登</p> <p>市民生活課長補佐 大野木 亮二</p> <p>市民活動支援センター長 釜田 正雄</p> <p>市民活動支援センター主任主事 関口 一男</p> <p>コーディネーター 荒井 ハツヨ、嶋田 由花、半澤 ひとみ</p> <p>支援補助員 向佐 美知子</p>
傍 聴 者	無し
議 事	第38回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。

1 開会

事務局から開会を宣言。

会議の成立について報告。

会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。

傍聴人の申出がなかったことを報告。

2 副市長挨拶

今村副市長挨拶

3 自己紹介

各委員及び事務局職員の自己紹介を行った。

4 議事

(1) 市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について

(資料(1))

大野木市民生活課長補佐

委員改選後、初めての会議であり、会長・副会長が不在のため、会長が決定するまで副市長に仮議長をお願いしたいと思うが、良いか各委員に問うた。

〈異議無し⇒了承〉

仮議長(今村副市長)

仮議長席に移動し、議題(1)について説明を求めた。

渡邊市民生活課長

議題(1)「市民活動支援センター運営協議会の会長及び副会長の選任について」を説明した。

仮議長(今村副市長)

議題(1)について、まず会長を決定するため、各委員に意見を求めた。

渡邊委員

指名推薦でお願いしたい。

仮議長(今村副市長)

他に意見はないかを問うた。

〈異議無し〉

仮議長(今村副市長)

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

渡邊委員

会長に竹澤委員を推薦したい。

仮議長(今村副市長)

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

《異議無し⇒竹澤委員を会長に決定する。》

仮議長(今村副市長)

会長が決定したので仮議長を降りること、竹澤委員は会長席に移動して挨拶をすることをお願いした。なお、今村副市長は公務のため途中退席させていただき、報告した。

竹澤会長挨拶

皆さんこんにちは。この大変な状況の中、御出席ありがとうございます。令和2年度は、新型コロナの猛威の中で世界中の人々が、生活やその活動の中で追い込まれ、そのような状況での新年度のスタートとなりました。深刻な状況を考えますと、本年度は市民活動支援センターの事業実施計画の取り組み内容などが変更になるほどと思われます。今年度の運営協議会におきましては、現在の登録団体等の活動環境を考えますと、これまで以上に充実した会議が必要になると思われれます。この難局を乗り越えるには、これまで以上の充実した会議、副市長、市民生活課職員の皆様方、センター長、コーディネーターの皆様の御指導は不可欠であることは言うまでもございませんが、やはり重要なのは、委員の皆様一人一人の豊富な人生経験、また活動経験から、力強いお知恵をお借りしながら運営協議会を推進していくことがやはり一番なのではないかと考えております。またセンターの登録団体、多くのボランティア団体のための充実には、意義あるサポートに繋がるものをこの会議によって発掘していくことができると考えています。活動できない状況が長く続くと意識が薄れたり、今までやってきたものに対しての緊張感が切れてしまって、迷ったり足踏みしたりする団体があるかもしれませんので、そのときこそ、市民活動支援センターの存在意義が問われると考えております。皆様方には、本年度、運営協議会の円滑な開催のためにお力添えをよろしくお願い申し上げます。

大野木市民生活課長補佐

設置要領第7条第1項の規定により、「会長が議長になる」と定められているため、以降の議事進行を会長にお願いした。

議長(竹澤会長)

次に、副会長の選任を議題とし、委員の互選により選出するとあるが、いかがするかを各委員に問うた。

渡邊委員

指名推薦でお願いしたい。

議長（竹澤会長）

どなたか推薦したい委員はいるかを問うた。

渡邊委員

立山委員を推薦したい。

議長（竹澤会長）

他に推薦したい委員はいるかを問うた。

《異議無し⇒立山委員を副会長に決定する。》

議長（竹澤会長）

立山委員を副会長に決定したので、副会長席に移動し挨拶することをお願いした。

立山副会長挨拶

引き続き、大役を仰せつかりました立山です。よろしくお願いいたします。本当にコミュニティの活動を心配しています。特に元気アップふえすたの同時開催が中止だということで、少し寂しい感じがするのですが、皆さんで盛り上げて活動を活発にしたいと思います。大変な状況の中、皆で知恵や意見を出していただいて、それを我々が助けていければと思っております。あまり頼りにならない副会長ですけれども、御指導をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(2) 令和2年度市民活動支援センターの登録状況について

(資料(2)-1、(2)-2)

議長（竹澤会長）

議題(2)について説明を求めた。

向佐支援補助員

議題(2)「令和2年度市民活動支援センターの登録状況について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題(2)について、委員に意見を求めた。

各委員

特に無し

議長（竹澤会長）

意見がなければ議題（２）については了承で良いかを問うた。

《異議無し⇒了承》

（３）令和２年度市民活動支援センターの利用状況について

（資料（３）－１、（３）－２、（３）－３）

議長（竹澤会長）

議題（３）について説明を求めた。

荒井コーディネーター、関口主任主事

議題（３）「令和２年度市民活動支援センターの利用状況について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（３）について、委員に意見を求めた。

渡邊委員

４ページのセンターの利用状況について、先ほど内容的には十分理解できたが、相談業務というのは、対面や電話、メールなどいろいろな手段があると思うが、ここの数字は、そういったものが全て含まれているか教えていただきたい。

荒井コーディネーター

今回は特に電話、メールが多いですが全部入っております。対面も一人ずつおいでいただいて、今のところやっております。

加藤（満）委員

明日なのですが、市が主催する別の会議ができなくなりましたという報告が私にありました。私の方は今日会議がありますけれどというお話をさせていただいたのですが、そういった会議等についてはこれからどうなりますか。

牛島市民生活部長

先ほど関口主任主事の方から御報告をさせていただきました通り、公共施設等の貸出しにつきましては基本的に対策本部会議の中で方針を決定させていただきました、今現在でもイオンノア店会議室１及びフリースペース、そういった換気ができないところについては引き続き貸出しを中止してございますけれども、基本的に会議等につきましては、本日御覧いただきました通り、ソーシャルディスタンスをとらせていただいた中で、開催できております。先ほどお伺いした明日の会議の中止ですが、考えられますのは、ソーシャルディスタンスをとることが物理的に不可能、また開催することによって、参集人数、それが明らかに密になってしまうなど、そういったことが考えられると思うのですが、直近の対策本部会議の中では、今後、市の主催する会議

等について中止していくという決定は今のところはされておりません。どういう理由をもってその明日の会議が中止になったかというのは、申し訳ございませんが少し分かりかねますので、後で一緒に確認させていただければと思います。

議長（竹澤会長）

他に意見がなければ議題（3）については了承で良いかを問うた。

《異議無し⇒了承》

（4）令和2年度市民活動支援センターの事業実施計画（変更）について

（資料（4））

議長（竹澤会長）

議題（4）について説明を求めた。

釜田センター長

議題（4）「令和2年度市民活動支援センターの事業実施計画（変更）について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（4）について、委員に意見を求めた。

藤掛委員

①の協働のまちづくりというのは、新規で掲載されていますが、具体的にもう少し分かりやすいイメージでどんなことか。

釜田センター長

協働のまちづくりにつきましては、市民活動支援センターの大きな命題であり、協働のまちづくりを推進するための市民活動団体の育成支援をするのが当センターの大きな役割の一つになっております。協働のまちづくりといいますと、金銭的な契約関係の指定管理から身近なお手伝いまで、本当に幅が広いです。単にその市民活動団体が、市と一緒にやっている状況をすべて協働という受けとめ方、自治会なんかもそうですけれど、それを市民活動団体に置き換えると、具体的に市の行政と一緒に地域の課題を解決している市民活動との繋がり、そんなイメージです。例えば公民館講座の講師に市民活動団体の人が協力するというのも協働ですし、実行委員会として子ども祭りをやるというのも協働です。今回改めて、野田市の協働の実態を市の関係部局と市民活動団体からの調査を取りまとめてそれを体系づけることと合わせて、それぞれが持っている課題を出してもらってそれを解決していくというところまで進めていく。ただし、今年度については実態調査ということで、その実態を明らかにするとい

う形です。先ほど言ったように協働の形態別、それが、ボランティアなのか、委託なのかという形とそれが子供の健全育成なのか、福祉なのか、スポーツなのか、更に言えば、それが通年なのか、年に 1 回なのか、それをやっていくまでの課題と、今後についての課題、地域の課題解決のために市民活動団体が市と協働して何ができるかというところまでいければと考えています。

議長（竹澤会長）

センターの命題ということでございましたが、育成や支援、また協働のあるべき姿など、その取り組みの深さというのを今御説明いただきましたが、いろいろな面で、時間もかかるものはあると思いますので、是非委員の皆様方にもお力添えを頂きながら、本来の役割が推進できるように協力をお願いしたいと思います。

その他、何か意見ございますか。

立山副会長

今、行事がなかなかできない状況の中で、登録団体と市民の方に「市民活動つうしん」を年 4 回発行しています。こういうときこそ「つうしん」を使って、皆さんに P R するような記事を作って、発行数を増やしてもいいのではないかと思うのです。それからホームページも利用して、市民活動の P R をやった方がいいと思うのです。

議長（竹澤会長）

今、立山副会長から、コロナの厳しいこの状況下において、「つうしん」等の役割というのを強化していただきたいというような御意見ございましたが、今後、こういうふうにしていきたいという抱負があったら御説明願います。

釜田センター長

「つうしん」につきましては、大きく分けて自治会の班回覧と全戸配布があります。今年度は新型コロナの関係があって、自治会の班回覧を 8 月からは解禁になっていますが、現実的にはまだ行っていないと思います。それではどうやれるかというのと、次のホームページと関連があるのですけれども、センターとしては、ホームページの大規模リニューアルを考えています。市民の方、登録団体から分かりやすい内容にするということと、もう一つ、一方通行ではいけないので、センターから新しい情報を出していこうという形を考えています。その中で、今年度に取り組んだのは、6 月 30 日に登録団体の活動について、団体の概要と活動内容をホームページに掲載しました。これは毎年やっております。変わったのは、一つは、登録団体が作成しているホームページ。今までは市のホームページから見られなかったのですけれども、ようやく今年から解禁になりまして、市民活動支援センターの団体概要のところから、ど

ここの団体のホームページをクリックすると、そこに飛ぶ。そういうことをやりましたので、リンクするそれぞれの団体のホームページの情報を充実させていただくこと。そこで、団体の概要や直近のイベント情報があると出せるというのが一つ。それはもうやっておりますので、登録団体の方については、ホームページを作ってもらうこと。もう一つはホームページの改訂、新しい情報の出し方を、今、月2回ぐらいは情報発信したいとセンターで打合せをしていますので、必要に応じてやろうと考えています。その中に、「つうしん」については当然入れているのですけれども、自治会の班回覧はできなくても、ホームページで出すなどの工夫もあるのではということで、できるだけその団体の情報、PRを市民の皆さんに見てもらおう機会をいろいろなところで作らなければと思っていますので、それについては検討させていただければと思います。

加藤（満）委員

元気アップふえすたの同時開催の中止は、誠に残念ですが、センター独自で市民活動団体の交流会のような形で進めてみたいという提案にはとても賛成です。これから先、with コロナで活動していかなければならないときに、全くないよりそんな形で工夫して開催できればいいと思います。そういう中で、社会福祉協議会の市民ふれあいハートまつり、福祉のまちづくり、あちらの方ではどのような形になったのか分かりますか。

釜田センター長

同時開催ができなくて本当に残念です。同時開催は中止になりましたが来年に向けての語らいはやっていこうということで、（仮称）交流会を計画しています。元々同時開催については、それぞれの団体に意思決定をさせていただきました。初めて募集をするときに、いきなり参加団体募集だと混乱するというので、社会福祉協議会や生活支援課という関係機関で説明会をやろうと。そして、皆さんに理解してもらって参加ということなのですけれど、今回中止になってしまったので来年に向けての思いも、それぞれの団体が語っていこうと。その交流会について、メンバーについては、もちろん元気アップふえすたの参加団体もふれあいハートもみんな同じようなイメージで考えております。社会福祉協議会からも、同時開催に向けて何らかの形のものはやっていきいたいねということは、お互い共通認識しています。今後どういう形でやるかについては検討していきたい。備考欄に書いたのですが、元気アップふえすたの開催に向けてでは、団体同士の交流を目的としたということで、当然、同時開催の目的に入っているのです、私たちも、フェスティバルの方も、ふれあいハートの方も一緒と

いう意味で提案させていただいておりますので、具体的に今後詰めていきたい。一般市民を対象にというのは今のところ難しいので、飽くまでも参加団体、登録団体同士の交流を深めて同時開催を1回やっていこうというような意味合いで考えています。

渡邊委員

確認ですが、私たちもよく市報を通じていろいろなイベントの紹介とか、相談する場合に、決まりがあるのは電話、FAX、ハガキです。最近はメール等が使われる方が多くなって、特に最近私は、簡単にアクセスできるということでQRコードをよく使っています。しかし、全ての人が使えるわけでない。使いましょうと言っているのですが、年配の方は使ったことがない、知らない。そういう方に伝えたいときに、先ほどホームページがすごく良くなりましたという話がありましたけれども、それをより多くの人に見やすい環境、こういう環境を整えることもやさしい町なのかなと思うのです。これは、自分の活動の中での課題としているのですけれども、市民活動の中で発信する際に、繋がりやすい方法というの、一つ課題としてとらえていただくと良いと思います。市民と市のお互いの繋がり方が、どうすれば今より良くなるかというような点からの提案です。

釜田センター長

QRコードは確かに便利ですが、一つのことで全てがクリアできる訳ではないため、それも進めながら、電話とかメールも、今のところは一つに限定しないで、参加申込みにQRコードも入れますけれども、電話でもFAXでも、あるゆる選択肢をやらなければいけないと考えています。できるだけ新しい通信手段を取り入れながら、そういうことに不得手な方にも、参加できるようなことについて心がけていきたいと思います。

渡邊委員

今、私たちが発信しようとしても、例えば市報を使う場合だと電話とFAXとハガキです。そうすると、皆さん電話がかかってきたりするのですが、例えば先ほど言ったように、メールなども市報を活用するツールとして使える手段になりえないのかなという質問です。

釜田センター長

市報を通じて発信するのと、ホームページからという形で出せばQRコードもメールもOKですので、発信手法を一つではなく、二つ、三つと新しいものを加えていけばいいとは思いますが、市報に全ての通信手段が書けるかという、御存知のように、限られたような紙面ですので、そこは少し難しいので、それを補完するためには

ホームページにイベント情報を載せて参加募集すると、その募集については、QRコードでもメールでも可能ですというふうに、現状ではその程度かなということです。新しいことがあれば、また研究等はしていきたい。

渡邊委員

そうですね。こういうときにはこういう繋がり方ありますよという紹介があると、より分かりやすいと思います。ありがとうございました。

北倉委員

渡邊委員の意見につけ足しですけれども、やはりいろいろなツールがあっていいわけなのですが、一番の魅力は、市民活動支援センターのあの部屋だと思うのです。ジャスコの前を通っていたら市民活動センターという看板が見えて、あそこにそういうものがあるのだ、何だか入りやすそう。職員の顔も見える。少し遊びに行こうかなと、目に見えないメール等ではなく、物理的なそういうものも必要と思いますので、そういうところで改善点があればやってみたらいかかだと思います。

釜田センター長

市民活動支援センターの場所ですが、一般市民から見たときに総合福祉会館というのはどこにあるのかということからやらないといけなかったもので、平成 28 年 4 月に私がセンター長になってきたときに、最初に行ったのは、社会福祉協議会の窓に 3 階市民活動支援センターという案内看板をしました。それくらいアピールしないとダメだと。ただ、最近の状況を見ると、センターにふらっと来て、そのまま市民活動団体に入会した人は何人かいますので、もう少し分かりやすくすればその数も増えてくると、改めてその辺は検討していきたいと思いますので、いろいろ御意見ください。

藤掛委員

PRであれば、例えばこの「つうしん」の回数を増やすとか、動画、あるいは元気アップふえすたで流している映画、そういうものを家で見られるようになれば、文章を読むより情報量が多いから理解しやすいのではないかと考えるのですが。

釜田センター長

御提案ありがとうございます。できることから何とかやっていきたいと思います。動画の話ですけれど、市役所の 1 階にデジタルサイレージという大きなテレビがあります。そこに元気アップふえすたで出た団体を数秒間ずつ全部流そうという計画を立てていて、実行する直前で少し今止まっているのですが、いろいろ考えています。できないこともありますが、それぞれ調整して、いかに市民にアピールできるかを考えてやっていきたいと思います。

議長（竹澤会長）

武智委員はいかがですか。

武智委員

支援センターの形ができてきたと思います。センターを知るために、あるいは知らせるためにどうするかということは、元気アップふえすたや何かをやると相当広がりが出たと思います。同時に私は、社会貢献していくNPOをもう少し増やしていきたい、まちづくりの中で、とても重要な組織だと思っています。NPOの果たす役割や、あるいは今ボランティアをやっているいろいろなことを知らせていく、知っていくということは相当できてきたと思うのです。その中で起こっている様々な問題、ボランティアにしる、NPOにしる、一生懸命やっているのだけれどもいろいろな悩みや問題があると思うのです。それをどこかで、交流を含めて、話ができるチャンスがあるともう少し厚みができるのではないかなとすごく思います。それは、放っておいてもできるものではなく、意識的に、こういう支援センターぐるみで、繋がっていくということを自然な形で作って行って、そこからいろいろなものが出てくることを大事にして、発展させていくというチャンスにいよいよきたのではないかなと思います。

議長（竹澤会長）

他に意見がなければ議題（4）については了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

（5）野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について

（資料（5）-1、（5）-2）

議長（竹澤会長）

議題（5）について説明を求めた。

渡邊市民生活課長

議題（5）「野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について」を説明した。

議長（竹澤会長）

野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦ということでございましたが、御説明にあった通り、私と立山副会長を除く皆様方には、順番で審査委員を経験していただきたいという決定事項がございますので、その観点から申し上げますと、今年は藤掛委員が補助金の応募をしたいとお聞きしました。となると必然的に残りの二名は

加藤眞智子委員と、芝田栄太郎委員という形になると思います。まだ御経験されていない加藤眞智子委員と芝田栄太郎委員に今年度はお願いするという形になりますが、それに関しましていかがでしょうか。

《各委員に意見を聴く⇒異議無し》

加藤（眞）委員と芝田委員を審査会委員として推薦する。

大野木市民生活課長補佐

次回の運営協議会の日程について、10月21日（水）か28日（水）のいずれかで開催したいと考えている。時間と場所は今日と同じ午後2時から旧レストラン会議室で開催したいが、都合はどうか。

議長（竹澤会長）

次回の運営協議会の日程について、委員に問うた。

《各委員に確認》

委員に問うた結果、10月21日（水）に決定する。

大野木市民生活課長補佐

議題については、支援センターの登録状況や利用状況、こまめカフェなどを予定している。

議長（竹澤会長）

会議の閉会を宣言した。